

果樹病虫害発生予察調査結果（5／10調査分）
（三条、加茂、田上地域）

5月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- 有効積算温度によるふ化盛期は、クワコナカイガラムシの越冬卵で**5月7日頃**、ウメシロカイガラムシの第1世代で**5月9日頃**、クワシロカイガラムシの第1世代で**5月24日頃**です。今後の気象条件や園地環境で時期が前後する可能性がありますので、適期に防除できるよう準備をお願いします。
- フェロモントラップによるナシヒメシンクイの誘殺盛期は、モモ園地で**4月2半旬頃**、ナシ園地で**4月4半旬頃**でした。第1世代幼虫の防除時期は**5月中旬頃まで**と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう（通常、第1世代の防除適期は、**越冬世代誘殺盛期の12～22日後**となります）。

（ナ シ）

調査地点ごとに200花葉そう、新梢5本、100果を調査しました。

- 一部で、**黒星病**の発生が確認されました。気温15～20℃・9時間以上の湿潤状況で感染リスクが高まります。り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 現在、葉に見られる黒点症状は大部分が雑菌によるものと考えられますが、一部では**セイヨウナシ褐色斑点病**も確認されました。発見した場合は黒星病同様の対応をお願いします。
- 一部で、新梢が黒く枯れ、しなびて曲がる**花腐れ細菌病**の症状が確認されました。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。

- 一部で、ニセナシサビダニの被害や、ワタアブラムシの寄生が確認されました。薬剤のかかりや通風に支障が出ないように、新梢が多すぎる部分は摘み取る等の対応をお願いします。

(モ モ)

調査地点ごとに新梢5本、結果枝150本、100葉そう、100花を調査しました。

- 多くの調査園地で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されました。り病葉が確認された園地もあります。対応が遅れると今後の風雨で葉や果実への感染が拡大する恐れがあります。り病枝やり病葉は切除して園外で処分しましょう。また、早期の袋かけで果実被害を軽減できるため、準備作業として早期の摘果をお願いします。
- 一部で、縮葉病や灰星病が確認されました。り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- フェロモントラップではモモハモグリガが誘殺され始めました。今回調査で被害葉は確認されませんでした。今後被害につながることも考えられますので、早期防除に留意しましょう。

◇ 次回調査は5月25日(木)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020